

令和5年度厚生労働行政推進調査事業費補助金（肝炎等克服政策研究事業）  
 「多様な病態に対応可能な肝疾患のトータルケアに資する人材育成及びその活動の質の向上等に関する研究」 分担研究報告書

## 関西、兵庫地区の肝 Co の養成とスキルアップの現状調査と 全国均てん化と標準的評価方法の確立

研究分担者：飯島尋子 学校法人兵庫医科大学 消化器内科学 教授

**研究要旨：**令和4年までに兵庫県の肝疾患診療に関わる二次医療圏で肝疾患診療に関わる医療機関との間にネットワークを構築した。これを中心に県下全域の医療機関や県民への啓発活動を目的に活動を開始した。中心となる肝炎医療コーディネーター（肝 Co）を配置し活動支援を行い、「兵庫モデル」のさらなる推進を目指している。今回はコロナ禍により研修会を対面形式から WEB 形式へ変更したことにより、受講者や再受講者の増加が明らかとなった。

### A. 研究目的

令和4年までに兵庫県の肝疾患診療に関わる二次医療圏10圏域で肝疾患診療に関わる医療機関との間にネットワーク「兵庫モデル」を構築した。肝 Co の養成とスキルアップについて、年4回の研修会を開催し、その受講者数の推移、アンケート内容を集計した。

### B. 研究方法

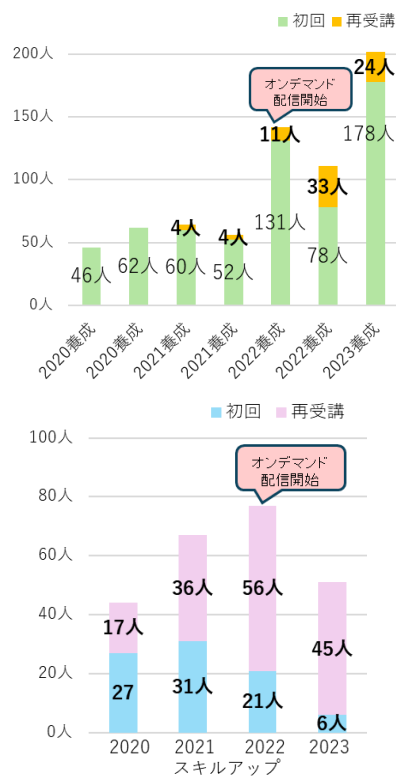
令和5年度は、肝 Co 養成研修会、スキルアップ研修会を2回ずつ計4回実施した。2回のうち、1回目がオンライン参加+オンデマンド、2回目をオンデマンドのみとした。アンケートは受講後に Google フォームで回答をお願いした。

### C. 研究結果

コロナ禍において、対面ではなく Zoom 配信による肝 Co 研修会開催を余儀なくされたが、オンライン配信に加えて、オンデマンド時配信を開始した2022年以降、受講者が急増したことが明らかとなった。さらに再受講者も増え、ブラッシュアップに繋がることも

確認できた。この傾向は、スキルアップ研修会でも同様だった。アンケートの回答には対面形式を希望するものもあった。

### D. 考察



オンラインとオンデマンド配信を用いた研修会の実施により、受講者数の増加のみならず、再受講者の増加も見られたことから、肝Coが新しい情報を得て、活動促進につながっているものと考えられた。

これからは従来からの対面形式も加えることにより、肝Co同士の繋がっていくことを期待している。

令和6年度には肝Coの認定に研修時に試験の実施、任期制の導入を考えている。

## E. 結論

コロナ禍により開催形式を変える必要があったが、受講者数や再受講者の増加につながった。

## F. 政策提言および実務活動

### <政策提言>

なし

### <研究活動に関連した実務活動>

なし

## G. 研究発表

狩野 春艶, 飯島 尋子, 藤井 さやか, 桐山 英江, 高嶋 智之, 西村 貴士, 福西 新弥, 榎本 平之..当院における肝炎エリミネーション対策と安全管理に向けた院内拾い上げの現状.(特別企画 メディカルスタッフセッション) 第45回日本肝臓学会西部会 2023.12

SP2-12 A807 肝臓 64巻 suppl.(3)2023

## H. 知的財産権の出願・登録状況

### 1. 特許取得

なし

### 2. 実用新案登録

なし

### 3. その他